

科目コード	授業科目名	単位数・学期	受講年次	授業区分	担当教員名
90239	楽曲分析研究	2 単位 後期	1・2	講義	近藤春恵 土井智恵子 村田昌己(非)

### ■テーマ

様々なスタイル、音楽語法について研究し、演奏に結び付く分析力を養う。

### ■授業の概要

- ・19世紀後半の主に印象は以降の和声語法、作曲技法、歴史背景について代表的な作品を選曲し分析を行う。
- ・各回の受講者の予習をもとにゼミ形式で考察を深める。

### ■到達目標

- ・機能と声から発展させた和声語法、限定移調旋法（M.T.L.）などについて分析する。
- ・音楽史上の潮流に区分して特徴を聴き分け作品研究を行う。

### ■授業計画・方法

1. ガイダンス
2. 印象主義音楽の和声語法
3. 印象主義の音楽作品分析
4. 印象主義の室内楽、管弦楽作品の分析
5. 20世紀の潮流について
6. 新古典主義の音楽作品の分析
7. 新古典主義の管弦楽作品の分析
8. 神秘主義、その他の作品の分析
9. 無調への流れ
10. バルトークの作品
11. ストラヴィンスキーの作品
12. 12音主義への変遷と室内作品
13. 現代音楽の様々な潮流
14. 新しい調性感
15. まとめ 期末試験は課さない。

### ■履修上の留意点（授業以外の学習方法を含む）

- ・具体的な曲目については、初回ガイダンスで受講生と調整し決定する。
- ・受講生は各楽曲の楽譜、音源を用意し、授業前に予習して臨むこと。

### ■成績評価の方法・基準

□方法 平常点7割、レポート提出3割の配点比で総合的に評価する。

□基準 到達目標を観点として、履修規程に定める「授業科目の成績評価基準」に則り評価する。

芸術文化科学研究科（後期博士課程）の学生には、専門家としての独創的かつ学術的な達成を求める。

### ■教科書・参考文献（資料）等

□教科書 各界の楽譜は受講者が用意をする。入手困難な楽譜については担当教員が配布する。

□テキスト 「印象派以降」柴田南雄著（音楽之友社）その他担当教員が指定する。

□参考文献 「和声の変遷」エドモン・コステール著（音楽之友社）「無調音楽の構造」A. フォート著（音楽之友社）